

# 練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩昌子 小沼稜子 田場洋和 吉田巳蔵  
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

## 問われる文化の会活動—新年会を機に新しい風を！

新年会：1月7日(土) 後1時半～ 職員研修所 会費：1500円  
第1部(～2時) 寺井つねひろ(チェロ)・今村恭子(ヴァイオリン)  
夫妻の二重奏 第2部(～4時半) スピーチ；Faxで出欠ご連絡ください

自衛隊の南スーダン本格参戦などの一層の安倍暴走、米国でのトランプ大統領誕生、韓国の李大統領疑惑、イギリスのEU離脱・・・等、混迷する中で新年会を迎えることとなります。

「平和なくして文化なし」を掲げる文化の会の活動の真価が問われます。今回の前半30分はプロのチェリスト：寺井つねひろと、バイオリニスト：今村恭子のご夫妻による二重奏、という会としては初のクラシック音楽イベントを組み、後半は「みつがしわ」刊行を記念しての執筆・広告出稿者をメインとしたショート・スピーチの集いとなりました。

会費1500円で、飲食は多少貧しいかもしれませんが、イベント内容はとびきり文化的にとというのが企画者の心意気です。同封FAXで出欠等の連絡お願い致します。

(田場記)

## 〇チェロ演奏する寺井 つねひろさんの略歴

東京ヴィヴァルディ合奏団、イソ弦楽四重奏団等のチェロ奏者として年間100回近い公演をこなす。その後新ヴィヴァルディ合奏団、玉木弦楽四重奏団の奏者としてテレビ番組のレギュラー出演、NHK大河ドラマや、歌謡コンサートなどのテレビラジオ番組の音楽演奏の他、クラシック音楽に限らず多方面の商業音楽やスタジオ録音の分野で活躍。また客演首席奏者として全国の主要オーケストラに招かれている。東京芸術大学卒業。同大学院修了。ラディッシュコンソート リーダー。パッサージュ企画フレンドリーアーティスト。

## 45周年記念特集「私と戦後71年」の会誌「みつがしわ」を刊行

会員25人が執筆—美術、書画、戦争・平和、教育、ジェンダー等多様な内容

ようやく文化の会創立45周年記念の会誌「みつがしわ特集—私と戦後71年」が刊行の運びとなりました。会員25人の方に、美術、書道から教育、戦争と平和の問題など幅広いテーマで執筆いただきました。目次(予定)は下記の通りです。新年会でお渡しします。

(田場記)

目次			
巻頭言	森田彦一	柳澤健二	8
		戦争の語り部として—なぜ戦争を語るのか	
		小岩昌子	10
		「少数者として」—沖縄の視点から	
		西浦昭英	12
		なぜ「オール沖縄」は誕生したか—	
		「沖縄・宮古島2世」の立場から	
		田場洋和	14
		生徒に「軍服、着用を求めた校長	
		—学校現場を翻弄する自衛隊入隊者獲得の	
		実態—	坂本 茂 16
		被曝者からのバトン	
		有原誠治	18
		慰安婦問題に関わって	
		田場祥子	20
		今年も福島からの親子を	
甲骨文の書の	望月翠山	1	
日本にだけ生き残ってきた彫金美術	岡部 昭	4	
辻井喬は堤清二を超えたか	森田彦一	6	
古賀義弘先生と遺稿「日本の軍需産業」			

飯能の「太平ハウス」で迎えました 宮下智行 23	障害者差別解消法とは 轡田英夫 34
「戦後、初期世代としての役割… 『語り継ぎ部』に挑戦すべし 佐藤康尚 24	男女平等をめぐる七一年 小沼 稜子 36
教科書訴訟を支えた三二年間 伊藤文子 26	「私ってXジェンダーなのかしら!？」 匿名希望 38
「一五の春を泣かせない」一高校増設運動 三宅喜久 28	都道放射35号線について考える 神津眞久 40
学校での「日の丸・君が代」強制と私 片山むぎほ 30	ITあれこれ 中田英明 44
都立夜間定時制高校の統廃合・削減問題に想う 城宝 保 32	「私の書いた本」 戸田桂太、永田浩三 有原誠治、猿田佐世

## 地方の時代映像祭2016：武蔵大との共同制作作品が優秀書受賞 「風船爆弾」「練馬駐屯地で見たものさ」に続いて3回目の入賞

文化の会が武蔵大学の社会学部メディア社会学科・永田ゼミの学生と共同制作したドキュメンタリー『埋もれた時限爆弾～さいたま・アスベスト被害～』が、2016年11月12日（土）に行われた「第36回『地方の時代』映像祭2016」の贈賞式で市民・学生・自治体部門の〈優秀賞〉を受賞しました。共同制作番組としては09年の小岩昌子さんの「私は風船爆弾を作っていた」（30分）、12年の「練馬駐屯地で見たもの」（20分）に続いての3回目の受賞です。

今回の「埋もれた時限爆弾～さいたま・アスベスト被害～」（34分）は、半世紀経って牙をむくアスベストの深刻な被害を描いた作品です。新たなアスベスト被害を生じた事態をさいたまに追い、国や企業が推進した責任を問うたもので、水俣病や大気汚染などと同じ公害を追求しています。文化の会では、武蔵大・永田ゼミとの共同で、2月までには上映会を行う計画です。

（田場記）

## えこだ沖縄映画祭上映に900余人：約40人がスタッフ協力 初日・武蔵大の森口豁作品上映・トークには120人が参加

9月24日から10月2日までの9日間、「えこだ沖縄映画祭」が武蔵大学とギャラリー古藤を会場に行われましたが、結局延べ参加者は主催者の予測の倍近くの900余名となり、成功裏に終わりました。成功した最大の要因は、江古田映画祭、もあい練馬、文化の会等の関係者がボランティアとして受付、物品・書籍販売、上映補助などで協力した人が40人を数えたと

ということかと思えます。文化の会の会員では一人で5作品をみたという報告ももらいました。おかげさまで、現地沖縄の辺野古・高江にカンパを寄せることができました。原発をテーマにした「江古田映画祭」はすでに5回を数え、16年の5回目は参加者が1000名を超すという実績をあげました。沖縄映画祭はこの実績を受け継いだと言えそうです。

（田場記）

## 衆議院東京10区補欠選挙に取り組んで・個人的総括

森田 彦一

昨年の戦争法阻止の戦いから1年、参議院選挙で野党統一候補が11地区で勝利するなど、新しい芽が出てきました。そこには、「市民」が登場し、政党だけの選挙を解放したともいえます。その後、東京10区の補選が急遽持ち上がり、10月23日の選挙となりました。その戦いに、私も、練馬区民として参加してきました。結果として、市民と野党が推した鈴木ようすけ候補は負けました。しかし、この戦いの中からいくつかの教訓を得ることができました。今度の選挙は、

- ① 市民と野党の統一候補が成立した。
  - ・豊島区と練馬区の市民が中心となって、7月から「衆議院東京10区で野党の統一候補を」の声を上げて、「TeNネットワーク2016」という組織を立ち上げ、結果的に「市民と野党の統一候補」鈴木ようすけ氏を擁立できた。
  - ・豊島、練馬区内の学者・文化人26人が「東京10区補欠選挙でぜひ野党共闘を」というアピールを出し、全体を励まし、「統一候補」決定に後押しした。
  - ・「TeNネットワーク2016」と鈴木ようすけ候補および岸良信候補とブリッジではあるが、同じ「政策協定」を調印できた。
  - ・鈴木ようすけ候補が正式に決まったのが、公示日の6日前にもかかわらず、市民団体として出来る限りの宣伝、集会などを行った。特に公示前2日間で5万枚の独自ビラを作成、豊島区内4万枚、練馬区内1万枚を全戸配布しきった。
  - ・全国的にもSNSなどを駆使し、支援を呼びかけ、同日行われた福岡6区の補欠選挙

とも協力し、全国的な戦いだと位置づけ応援をもらった。

- ・公示後も積極的に活動し、17日の屋内集会、20日の池袋西口駅前街頭演説を2,000人の聴衆を集めて成功させた。20日には、民進党・安住淳、共産党・志位和夫、社民党・福島瑞穂、自由党・山本太郎、沖縄の風・糸数慶子の党首および党首クラスの人たちが、鈴木ようすけ候補の応援演説をした。

### ② 追い詰めたが勝てなかった

- ・選挙前に4野党会談があり、公示日直前にも会談が行われ、「野党統一候補」で共に頑張ろうという事を確認したにもかかわらず、民進党公認候補であるということで「TeN」ネットワーク2016」という市民組織に距離を置き、最後まで「本当の意味での野党共闘」が弱かった。

- ・都知事に立候補し、圧勝した小池百合子の地盤でもあり、その後釜である若狭勝候補であることから、マスコミに作られた「小池劇場」のワクを敗れきれず、自民党内の内紛にもつけ入ることができなかった。特に「野党共闘を支持」という人が47%にもいたにもかかわらず、半分近くが、若狭支持に回ったのは、無党派層に切り込めなかった結果でもあります。

- ・鈴木ようすけ候補と政策協定を結んだが、彼の演説、政策ビラの中から、その言葉は全然出てこず、民進党の圧力からかわからないが、政策協定が実質的にないがしろにされた。やはり、個人間では不十分で、政党間で協定を結ぶ必要がある。

- ・野党共闘ではあったが、豊島、練馬の都議、区議および、各種団体、労働組合での

動きが非常に弱く、これが、投票率が史上最低の34,85%に終わったことの一つの理由でもあった。特に両区の市民団体の声を反映しきれなかったことが残念であった。

・今回の選挙では、SNSが大活躍して、新しい層を組み込んでいったが、SNSに取り残された部分に、どうアプローチしていくか。「どぶ板」的選挙への取り組み不足と共に課題が残った。

・民進党が20日の池袋西口駅頭演説会に鈴木ようすけ候補を欠席させたことは、大きな問題であり、SNSでも大炎上した。民進党支持者の間でも「がっかりした」の声が上がり、今後の野党共闘の問題でも課題を残した。最後の3日間も支持、宣伝で足が鈍った。

・「連合東京」が、福岡6区選挙応援、新潟知事選での蓮舫の応援演説を理由にして、選挙運動員を引き上げたことは、政党間、市民との間での信頼関係を失わせたもので、非常に残念であった。

③ 野党共闘を全国的にも進めよう

・「東京10区の補欠選挙」では、残念な結果に終わりましたが、市民組織の「TeNネットワーク2016」の活動は、今後の野党共闘に非常に教訓となる活動でした。このため、この活動の「良い面」と「悪い面」を正確に把握し、まずは、東京段階で「野党統一候補」を実現するために「市民と野党をつなぐ会@東京」を発足させ、情報交換から始めようと計画している。

・単に「野党共闘」ではなくて「市民と野党の共闘」を進めるべきであり。「市民」の存在が、共闘を前進させ、政党のある種の独断を抑える効果があると思う。その為にも今後の選挙では、「市民」が中心になって積極的に組織化を進めていかないと前進しない。全国的な「市民連合」とももっと手を結び、情報の共有が大事だ。

・日常の戦い、特に「市民・住民運動」の大切さがあるにもかかわらず、その戦いと、選挙が結びつかない。どうしていくかに課題が残った。

米国・中国・台湾で絶賛！日本軍「慰安婦」問題を朗読と芝居で！  
「ひとみ」（作・構成・出演 横井量子、協力・渡辺義治）  
12月26日（月）後7時～ココネリホール 前売り2500円

東芸、統一劇場など新劇系劇団で学んだあと、IMAGINE21を設立した横井量子・渡辺義治夫妻は 中国残留日本婦人を描いた「再会」で1993年から2005年までに国内外255ステージを公演。昨年からは日本軍

「慰安婦」を描いた作品「ひとみ」を米国のロスアンジェルス、ニューヨーク、中国の杭州・上海などで公演、今回のココネリ公演になりました。前売りチケットを田場（090-3238-9348）があづかっています。是非ご連絡ください。（チラシ同封）

## 会費未納の方には郵便振込用紙を同封しました

年会費は2000円、家族会費1000円です。新年会でも受け付けます。行き違いでお納めいただいた方には失礼の段お詫びいたします。お問い合わせは会計担当の下記の轡田までお願いいたします。

轡田英夫 自宅(3948)5129 携帯 (090-9809-8591)